

御岳生物群集保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管理局・木曾森林管理署、飛騨森林管理署、岐阜森林管理署
所在地	長野県木曾郡王滝村、長野県木曾郡木曾町、岐阜県高山市、岐阜県下呂市
面積	3121.61ha
設定年	平成30年4月設定
保護林の概要 (設定目的)	御嶽山の山頂に近い火口カルデラ、火口湖、噴気口など数多くの特徴を持った地形、地質とこれらの地形に起因する植生、希少種の生育地、亜高山帯から高山帯に分布する地域固有の典型的な垂直森林帯等により構成される森林生態系の保護・管理を図る。 なお、地帯区分については、当該区域は均質な天然林で区分が難しいことから区分設定は行わない。



モニタリング調査の概要

実施年度	平成30年度
調査項目	森林概況調査(樹木・下層植生の生育状況、病虫害・鳥獣害・気象害の発生状況調査)、その他の調査等(資料調査・聞き取り調査)
調査手法	指定した登山道沿い(日和田登山口～のぞき岩ルート)を踏査し、森林の概況を把握する。
結果概要	確認できた影響「ウ:外来種、力:その他(倒木等)」 概ね良好に保護・管理されている。 ただし、登山者の入り込みによる影響として、外来種の侵入が懸念される。特に高山帯の脆弱な植生域においては、外来種の侵入を未然に防止する手立てが必要と考えられる。 また、大径木の倒木が散見された。 よって、倒木更新状況だけでなく、外来種の侵入状況にも注意して、引き続きモニタリングを継続することが適当である。